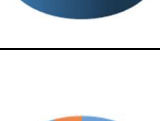


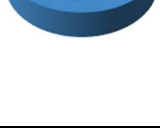
令和6年度 事業者向け 児童発達支援自己評価表(公表)

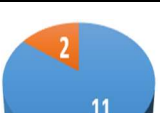
14/14 回収率 100%

公表 令和7年6月

事業所名 中野区子ども発達センターたんぽぽ

		チェック項目	回答結果 ■はい ■いいえ	意見	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか			十分とは言えませんが狭くもない
	②	職員の配置数は適切であるか		・配置基準は満たしている ・欠員あり	欠員は出ているが、配置基準は満たしている
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			構造的な部分での改善は難しいと思われるが、使いづらさを感じている部分は工夫して対処したい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供達の活動に合わせた空間となっているか		①見えていない部分の整理が必要と感じているが手が回らない ②使用したものは消毒している	清掃業者に任せっきりでなく、職員においても汚れ等気付いたら速やかに掃除や整理を行い、活動後の点検においても掃除や使用した教材等の消毒や整理を行うことを、全職員で再確認する ①定期的に整理整頓の時間を作り対応する
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		・朝礼や個人的に共有している(内容によっては全体に周知している) ・日々の振り返りはできていないが、個別や朝の打合せ、支援会議などで実施 ・日々の振り返りがあまりできていないと感じる(会議などでは個別ケースでなどで話せているが…)	業務改善は、案件の内容によって主導する職種(福祉職・看護職・リハ職・事務職)や職制で異なるが、事業担当者会議・専門職会議・職員会議等で職員全員が参画し、迅速に対応する流れにある。また、会議の場面以外でも必要に応じて改善に向けた検討を行っている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			ガイドライン保護者評価のほか施設単独アンケートの結果は、職員へ周知し、検討事案においては各会議で検討し業務改善に繋げ、その対応を保護者各位にお伝えしている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			毎回、保護者会等で報告し法人本部のホームページに掲載し公表している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			第三者委員会を実施し、事業報告やインシデント・アクシデント分析報告、虐待防止等の各委員会報告等を行い、委員より評価や助言をいただき改善に繋げている
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		・以前より増えている ・機会はあっても参加できないこともあり(若手優先のため)	・業務に支障がない範囲で必要な研修の機会を設けている ・各自の個人調書をもとに希望する研修の機会を提供している

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか			児童ひとり一人の各項目(本人支援、移行支援、家族支援、地域支援)のアセスメントを行い、本人及び保護者の「療育の意向」を踏まえ事業担当者を交えて個別支援計画を作成している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		・案はあるものの取組めていない ・そのままの使用は難しいこともあるため適宜使用	令和7年度は新たなアセスメントツールの使用を検討する
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか			児童ひとり一人の各項目(本人支援、移行支援、家族支援、地域支援)のアセスメントと本人および保護者の「療育の意向」を踏まえて支援内容を設けている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか			・日々のケース記録は、個別支援計画の支援内容を記入する書式としており、支援内容の実施状況が確認できる ・毎月の児童発達支援内容検討会において児童1人ひとりの支援内容やその進捗状況を確認している
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか		輪番制であるが必要に応じて相談している	個別に相談して立案しているが、チームとして立案が出来ている状況ではない。ただ、福祉職以外に活動案を求めたり、個別リハで実施したことを活動の中で取り入れている
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		・同じ活動で季節やイベントにちなんだ内容に変更するなどしている ・ポッチャや釣りゲームなど、ルールややり方を変えて変化をつけている ・利用日が多いお子様でも連続して同じ活動にならないように月案を組み立てている	集団療育をメインとしているので、利用児が楽しく活動参加が出来るよう定期的に見直しをする機会を設け、バリエーションを増やしていく
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		・人数など(職員配置含む)によっては、個別活動が難しい場合もある	原則は集団療育をメインにしている為、機会は少ないがPTやOTのほか、必要に応じて個別の対応を行っている
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		・朝礼に出られない場合は各自活動記録を確認 ・朝礼で行っている	朝礼で実施しているが、出勤時間により参加出来ない職員もいる為、リーダーがフォローしていく
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		・個々に話し合っている。放デイや居宅訪問との兼ね合いでできないこともある ・活動終了後に打合せできないこともあるが、活動記録に情報を残したり、翌日の申し送りが必要な情報は伝えられている	当日の利用状況により、振り返りが出来ない時は記録の合間などで共有できるようにしている。また、各自が活動記録を確認することをルーチン化している
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			・非常勤職員においては日々の個別記録を見る機会がない為、その分を振り返りや打ち合わせでフォローしていく ・職員により記録の仕方や内容に差がある為、記録の際は前回の記載内容を把握した上で個々の支援内容に沿った記録を行うこととし、記録内容に連続性を持たせる記録方法の平準化を図る

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		・年 2 回実施 ・支援内容検討会議で点検	毎月の支援内容検討会での点検やモニタリング時期にはケース会議を行い、見直しをしている
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			精通した者が参画している 今後は対応出来る職員を増やしていき、情報共有を強化していく
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			実施している
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		・場合によりケースカンファレンスに参加	・嘱託医、児童の主治医とは保護者を介して、就学に向けては学校との連携は行えている 他の関連機関に関しても必要に応じ連携し対応している ・関連機関の医療的ケアの現況把握などの依頼に応じて見学を受け入れている
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			利用児童はそれぞれに主治医を有しているので、保護者を介して主治医の医ケア指示書(当事業所様式)をいただき、保護者より事業所の嘱託医と看護師へ係の手技等をレクチャーしていただいている
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		・今年度はしていないが要望があれば対応できるようになっている ・保護者経由で情報を聴くことはあるが直接の情報共有はない ・保育園を併用している児はいるが、直接のかかわりはない。移行段階の児がいない	依頼に応じて対応している
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		・保護者経由で情報を聴くことはあるが直接の情報共有はない	依頼に応じて対応している
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		・研修は受けている ・中野区の障害児支援事業所連絡会(年4回)で情報交流	・頻度は少ないが研修参加はしている ・対象児童が重症心身障害児で医療的ケアも含む為、他の事業所とは活発な意見交換等は行えていない ・一部他事情所との連携が出来ている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		・たんぽぽまつりで他事業所の方が来ている ・ほかの園と交流する機会はない	利用児童(重症心身障害)の特性から、易感染症の心配もあり慎重に対応したいと考えている その上で前向きに検討したい
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			中野区の自立支援協議会の構成メンバーに含まれていないが、要保護児童対策地域協議会の構成メンバーとして参加している 参加した者は内容等を職員会議で周知している
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか			年2回の面談以外でも連絡帳や電話連絡、個別リハビリでの情報伝達は細やかに行うよう心掛けている
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		・職員により対応力の差はある ・確立はできていないが部分的に行っている ・ペアトレまでは行っていないが個々に相談にのっている	ペアレント・トレーニングとまではいかないが、諸々のご相談やご質問等に対し、その都度対応している ペアレント・トレーニングの研修に参加した職員がいるので今後現場で活かしていきたい

保護者への説明責任等	③②	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		簡略化しているところはある	・契約時や変更あった場合には、面談や保護者会で説明を実施している ・運営方針や運営規程、苦情受付窓口など玄関エントランスホールの壁に掲示している
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか			実施している
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			・日々の連絡帳・面談・健診・個別リハビリ等で必要な対応を行っている ・日常会話などを通して相談しやすい雰囲気を作っていく
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		・親の会がなくなってしまったが保護者会は年2回実施 ・合同保護者会で交流の場を設けている	合同保護者会を企画して情報の交流を図っている 今後は合同保護者会終了後に場所を提供して保護者交流の機会を提案する
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか			保護者会、各アンケート、連絡帳、電話等で頂いた相談や申し入れについては、迅速に対応するよう努めている また、ご意見箱の設置や苦情処理システムをエントランスホールに掲示している
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			日常的には、連絡帳や電話で情報交換しているほか、月の予定表やたんぼぼだよりを年4回発行している 必要に応じて、書面やメールで連絡事項をお伝えしている
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか		PC ファイルを開いたまま離席する職員が見受けられる	・個人情報保護法に基づき対応している ・日常的な記録、メモの取扱いには十分注意する ・PC ファイルを開いたまま離席しないよう徹底する
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		不十分ではある	職員には児童の些細な動きから発信される意思を読み取る観察力と洞察力を養うため、職員間で検証の機会を設けるなどの努力を求めている
非常時等の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		・不十分ではある ・積極的に行えていない ・たんぼぼまつりでみずいろうさんや緑野キッズクラブの児童を招いている	対象児童の特性上、積極的な実施は難しいが、感染症の状況を見ながら少しずつ関わりの機会を設けていきたい
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		不十分ではある	・職員への周知は出来ているが、保護者への周知はたんぼぼだよりで実施内容や経過報告も含めてお知らせしている ・緊急医療情報連絡票を作成している(緊急時に丸一日たんぼぼで過ごすことを想定し、緊急連絡先や児童の生活の流れなど記入)
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		防災担当職員の病気欠勤、離職の都合で数カ月実施できていない	早期に防災担当者を設置し、安全計画に基づく訓練を実施する
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか			・新規児童より予防接種実施の確認表を使用し把握に努めている ・把握している内容は医ケア一覧表に記載しており、ケースファイルでも確認が可能である。各自が確認及び看護師に確認していく

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			・利用契約前の健診や初回通園時等で必ず確認を行っている ・対応方法は緊急医療情報連絡票・フェイスシートに記録している
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			・ヒヤリハット等が発生した際、回覧用報告書で素早く周知する体制にある ・毎月の事業担当者会議で改善策を立て施設長の承認を得て、全職員が確認の署名を終えてファイル化している ・毎月の職員会議で件数・内容を確認し、年度末に集計・分析を行い予防に繋げている
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			行政が開催する虐待防止・権利擁護・身体拘束の適正化等の研修に参加し、その内容は職員会議で周知している
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			・個別支援計画に記載している ・個別支援計画に記載していない案件が生じた場合は、速やかに身体拘束に関する説明及び同意書の作成を行い、職員間及び嘱託医と共有の上、保護者への説明と同意を得る手順にあり、期間を設けて評価し見直していく